平成 20年 4月から

特定健診 特定保健指導が始まります

健診は、症状が出る 前に体の中で起きて 🧎 大切な機会です! 健康チェックを しましょう。

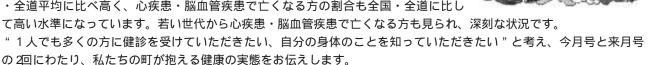
住民課国保医療係 ☎ 74-3002/健康福祉課健康福祉センター ☎ 76-4006

11月号では、来年4月から始まる「特定健診」「特定保健指導」が、どのような内 容なのかを掲載しました。

医療制度改革により来年4月から、メタボリックシンドロームに着目した特定健診 と特定保健指導を導入し、糖尿病など生活習慣病を予防することで、健康的な生活の 支援と将来の医療費の伸びを抑え、住民の負担を減らし、国民皆保険制度を持続可能 にすることが、今回の「特定健診」「特定保健指導」の目的です。

11月号にも掲載しましたが、洞爺湖町の国民健康保険の一人当たりの医療費は全国 ・全道平均に比べ高く、心疾患・脳血管疾患で亡くなる方の割合も全国・全道に比し

て高い水準になっています。若い世代から心疾患・脳血管疾患で亡くなる方も見られ、深刻な状況です。



洞爺湖町の平均寿命はどのくらいでしょう?

健康状態がもっとも損なわれた状態が「死亡」ですが、洞爺湖町民の平均寿命は全道平均に比べて低い傾向にありま す。

合併前の平成 12年の統計では、男性全道平均 77 6歳に対して、旧虻田町は 76 6歳、旧洞爺村が 77 5歳。女性全道平均 848歳に対して、旧虻田町836歳、旧洞爺村862歳となっています。

死亡統計を見ると、がん、心疾患、脳血管疾患で亡くなる比率が、全国・全道に比べ高く、特に心疾患の死亡の発生 は全国・全道の倍以上になっています。中でも女性の心疾患が多く、全道でも上位にあります。

過去5年間の虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症など)と脳血管疾患(脳梗塞、脳出血など)の死亡状況を年齢別に見る と、働き盛りの40代からの脳血管疾患、50代から虚血性心疾患が増えはじめ、特に男性で亡くなる方が目立ちます。

どのような病気で治療している方が多いのでしょう?

平成 18年 5 月の国保加入者の治療状況を調べてみました。

高血圧や糖尿病、心疾患、脳血管疾患など生活習慣病で治療されている方は、国保加入者4915人中2167人、全体 の44%でした。1カ月の医療費用額で見ると、生活習慣病の占める割合は全体の735%に及んでいました。生活習慣 病を予防することは、みなさんの健康的な生活を維持し、結果として医療費の伸びを大きく抑制できることにつながり

疾患別の割合では、高血圧で治療されている方が最も多く、次に高脂血症 ロレステロールや中性脂肪の高い方) ま た糖尿病で治療されている方も30%を占めています。若い世代から糖尿病で治療されている方や、糖尿病に心疾患や脳

糖尿病は始め特別な症状はありませんが、重症化すると知らない うちに身体の中で血管が傷つけられ、心疾患や脳血管疾患などの命 にかかわる病気を発症する危険があります。

どの生活習慣病もそうですが、かかりつけの先生に相談して、進 行しないように適切な治療を継続して受けることが大切です。

損なわれてしまった健康を取り戻すには時間がかかります。定期 的な通院は生活や仕事にも影響を及ぼし、治療費などの負担も大き くなります。健診を受けて気になる値があったら、重大な疾患にな る前に生活を振り返って見ましょう。その時が病気を予防するチャ ンスです。

